る物なるゆへ、瓦を廻りに立、その中に糞土を一盃入、たねを指三つばかりのふとさに割て、五七寸も間を置てうへ、其後もわきより、能こゑを入べし、牛馬糞など土の和らぐ物をおほひをけば、その瓦の内殘らず皆いもになる物なり、土龍のくはざるふせぎをよくすれば、是又多く作りて厚利の物なり、凶年飢饉をも助る事、穀に劣らぬ物にて、性よく人に藥なり、取分手入次第にて、凶年をもいとはず、甚益おほく、損なき物なり、諸國にても、城下ちかき所、又は人家多き大邑の邊にては、多く作りて、利潤ある物なり、尤つねの料理にも、品々用ひてよし、

〔成形圖說菜二十二〕山津芋

山芋は根は更にも云ず、食にも藥にも皆悉味の美のみならず、性も良こと野蔌中の巨魁ともいふなるべし、本山原に產るものにして、亦家園にも生り、三四月の交宿根より苗を出し蔓と成る、葉に縱道の光澤ありて軟けし、老くなれば三尖なすあり、其根大きは蔓亦從て太し、中夏の頃葉間に細花さく、棘の花に頗似れり、色白きと淡紅とあり、實なりて中秋に至りて熟り、圓扁大小乙からず、色梨子に似て、是亦味佳しく、生も熟たるも食ふべし、卽糠子なり、○中略根は四時よろしけれど、其發芽の節は味腴からず、二八月掘采ぞよき、大なるは圍み二握に近く、長さ四尺にも餘れり、○中略凡大和、山城、丹波、近江、紀伊等に產る山芋嘉し、中國西州より東陸山形日光富士郡內練間の諸地また宜し、

〔浪花の風〕長芋には長きものあれども、是は江戶にて一年芋と云類にて、橫に延る樣に人力にて製せしものなり、自然と根入深くして、延大なるものは絕てなし、

〔藥經太素下〕薯蕷　温味甘　山藥トモ　一說ニ銅鐵ヲ忌

能洗テ上皮ヲ削去テ、白水ニ付テ切干モ有、又石灰ヲヌリテ干モ有、腰痛ト膝ノ力ナキト、耳ノ聞ヘザルニ用、能安寸白、鎭心神、補虛下、氣强筋骨、